

児童発達支援保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 5 年 6 月 6 日

事業所名:ステップサポートなかがわ 保護者等数(児童数) 13(13) 回収数 10 割合 70%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10					・今後もより良いスペースの活用方法を随時検討していきます。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	9			1		・これからも継続していきます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8			2		・今後もより良いスペースの活用方法を随時検討していきます。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10					・毎日清掃と消毒を行っています。
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	9			1	・丁寧に作成して下さるので安心しておまかせしております。	・これからも継続していきます。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8			2		・ガイドラインに沿いつつ、子どもの姿に合った具体的な支援内容を設定しています。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9			1		・支援会議や日々の朝礼終礼の中で支援について話し、職員間で共通理解を持ちながら支援にあたっています。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9			1	・いつも楽しいイベントを計画して下さっていて、子どもも楽しんでいます。	・これからも継続していきます。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	2	2	5	・利用し始めてまだ1年未満なので現時点では把握していません。	・保育所等を併用している方が多いため、特別にプログラムは設けていません。
	⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	1				・これからも継続していきます。
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	8	1	1			・支援計画作成時と更新時に支援内容について丁寧に説明を行っています。
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	3		2	5		・プログラムとしては行っていませんが、個別の相談に対応し、支援しています。

保護者への説明等	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	9	1				・これからも継続していきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7		2	1		・これからも継続していきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		1	5	4		・保護者同士の交流の場を作っただけだと嬉しいです。 ・今後実施に向けて検討していきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7	1		2		・これからも継続していきます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8					・これからも継続していきます。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5			3		・SNSを見えています。 ・SNSにて活動の様子を週2回発信しています。
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	7			1		・これからも継続していきます。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	7			1		・定期的にマニュアルについて周知するよういたします。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6			2		・毎月、非常災害を想定した避難訓練を実施や防災についての学習を行っています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	7			1		・今後も楽しんで通所してもらえるよう努力していきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	8					・いつも感謝しています。スタッフの方のおかげです。 ・今後も満足していただけるよう努力していきます。

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 5 年 5 月 1 日

公表: 令和 5 年 6 月 6 日

事業所名: ステップサポートなかがわ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・適切です。	・広々とした場所をうまく活用した支援や構造化の工夫を進めてまいります。
	2	職員の配置数は適切である	○		・より充実した支援が行えるよう、専門のスタッフの増員を図っていきます。	・これからも継続していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・可動式マットを使用して活動スペースを区切っています。	・広い部屋になっているので声が反響しやすいため、落ちついて過ごしたり、活動に集中できるよう、活動している利用者、周りの利用者に視覚手段を活用して働きかけ、環境を整えます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・空気清浄機や加湿器を使用し、定期的に換気をして、清潔で快適な環境づくりをしていきます。	・これからも継続していきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・朝礼終礼を実施することで毎日職員間で情報を共有し、業務の改善に努めています。	・これからも継続していきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・毎年実施しています。	・保護者等の意見を把握し、業務改善に取り組んでいきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の全報やホームページ等で公開している	○		・毎年実施し、自社のホームページ及び名古屋市子ども発達支援サイト「すてっぷサポート」にて公開しています。	・これからも継続していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	・適切な運営を行うべく外部の評価体制を取り入れて参りたく、鋭意検討中です。	・現在導入に向けて調整中です。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・社外、社内研修を通じて研修を行い、職員の資質の向上に努めています。	・これからも継続していきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・職員間で支援会議を行い、そこで出た意見を踏まえて支援計画書を作成しています。	・これからも継続していきます。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・アセスメントシートを使用し、状況を把握しています。	・毎年アセスメントシートの内容を確認し、その都度適した項目が検討しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・ガイドラインに沿いつつ、子どもの姿に合った具体的な支援内容を設定しています。	・支援計画書の説明の際に、支援内容について保護者の方にもわかりやすいようにお伝えしています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・支援会議や日々の朝礼終礼の中で支援について話し、職員間で共通理解を持ちながら支援にあたっています。	・療育について研修を行い、支援方法のスキルを上げていくとともに、さらに日頃から職員間の意見交換を活発にし、問題があれば速やかに対応できるようにします。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・スタッフ会議で意見を集め、担当者が決定しています。	・これからも継続していきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・平日は季節ものの工作を作ることや学習、運動、音楽療法などを行っています。休日は調理、工作、外出などバランスを考えて設定しています。	・これからも継続していきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		・個別活動と集団活動を組み合わせて作成しています。	・これからも継続しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・日々朝礼にてその日の活動内容や子どもの支援について話し合い、確認作業をしています。	・これからも継続していきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・終礼にてその日の支援内容や気になった子どもの姿について話合っています。	・これからも継続していきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・終礼で支援や子どもの様子について振り返りを行い、記録を残しています。	・これからも継続していきます。
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・行っています。	・これからも継続していきます。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児童発達支援管理責任者が参加しています。	・これからも継続していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・行っています。	・これからも継続していきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		・現在医療的ケアが必要なお子さんをお預かりしていません。	・今後ケアが必要なお子さんをお預かりした場合、検討していきたいと思います。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		・現在医療的ケアが必要なお子さんをお預かりしていません。	・今後ケアが必要なお子さんをお預かりした場合、検討していきたいと思います。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・特に移行支援としては行えていませんが、相談員とのやりとりやサービス担当者会議で情報交換を行っています。	・各機関との情報共有をし、移行支援をスムーズに行えるように準備していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・特に移行支援としては行えていませんが、先生と日々の生活等の情報交換を行っています。	・学校との情報共有をし、移行支援をスムーズに行えるように準備していきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・現在はコロナ感染予防の観点から行っていませんが、専門機関と連携して支援ができる体制を整えるべく検討中です。	・今後進めていけるように情報を集めていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		・保育所等と併用されている方が多いため、行っていません。	・情報収集し検討いたします。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・現状積極的参加ができていません。	・参加していきたいと考えていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・連絡帳や送迎時にお伝えしています。必要に応じて電話等でも連絡を取るようになっています。	・これからも継続していきます。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		・プログラムとしては行っていませんが、個別の相談に応じ、支援しています。	・今後実施に向けて検討していきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に説明しています。	・これからも継続していきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・支援計画作成時と更新時に支援内容について説明を行っています。	・これからも継続していきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・相談があった場合は送迎時や電話にて対応し、職員間で情報共有しています。	・これからも継続していきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・行っていません。	・プログラムの希望があったため、今後実施に向けて検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・個別の相談があった場合には職員間で話し合い、速やかに対応させていただいております。	・これからも継続していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・SNSにて活動の様子を週2回でお伝えしています。また、自社のHPにて行事予定などを発信しています。	・より多くの方に見ていただけるように広報活動にも力を入れ、周知できるようにしていきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・全職員が秘密情報の保持について誓約書を書いています。	・定期的に写真等の個人情報の取り扱いについて職員間で確認します。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・構造化や情報の図示などを行っています。	・配慮事項を職員間で共有し、よりよいものを作成して連絡ミスがないようにいたします。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・現状、新型コロナウイルス感染予防の観点から行っていませんが、地域に根付いた運営を行う方法を現在模索しております。	・こういった形で導入ができるのか検討していきます。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にマニュアルの見直しを行っています。 ・訓練も月に1度実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも継続していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、非常災害を想定した避難訓練を実施や防災についての学習を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで以上に子どもたちが非常災害を身近に感じ、考えられるような訓練や学習を考えていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに保護者から情報を得ています。日頃の様子については、連絡帳等で保護者から情報を得ています。坐薬保管が必要な方には医師の指示書をいただく 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも継続していきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からアレルギーの情報を得ています。その際、医師からの詳細についても確認しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要であれば医師の指示書をいただくように対応します。 ・職員間での情報共有をより進めていきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・各スタッフがすぐに手に取って振り返られるように事務所内の目につく場所に格納してあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも継続していきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・虐待に該当する行為について職員間で確認しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に研修を行い、意識の向上に努めていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束について職員間で確認しています。現在該当する利用者はいません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて保護者への事前説明を行い、支援計画に記載します。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。